

平成30年1月30日

さらなる生産性向上に向けた取組みについて

佐賀銀行（頭取 陣内 芳博）は、現中期経営計画期間で取組んでいる「生産性の向上」をさらに加速させます。

平成28年度よりスタートした第15次中計期間においては、新たな営業店端末や営業支援システムの導入、営業店の融資業務の見直し等の効率化施策により、営業部門への人員再配置を進めており、一定の成果を収めております。

今回、さらに銀行全体の生産性向上を進めるため、本部業務に関し抜本的効率化に取組むこととしました。

経営環境はますます厳しさを増しており、間接部門である本部業務についてBPR^{※1}を実施し、本部業務量の30%相当の業務効率化を目指します。業務効率化を図ることで、お客さまと向き合う態勢をさらに強化し、生産性の高い業務運営構築を図ります。

今回の取組みには、KPMGコンサルティング株式会社（代表取締役社長 ^{みやはら} 宮原 ^{まさひろ} 正弘）のサポートを得て、強力に推進・実行してまいります。

全体最適の考え方を基本に、各種業務の調査・分析を実施し、想定されるリスクやデメリットの克服努力を行うことで、業務の廃止・軽量化を進めてまいります。また、RPA^{※2}の導入による業務の自動化も同時に進めてまいります。

本件により創出できた人員は、今後の新しい業務への対応やより付加価値の高い業務へのシフトを進め、多様化するお客さまのニーズにお応えできる態勢を整備してまいります。

※1 BPR（Business Process Re-Engineering）

既存の業務を根本的に見直し、プロセスの視点で再設計すること

※2 RPA（Robotic Process Automation）

認知技術を活用した事務系業務の効率化・自動化の取組み

以 上

本件に関するお問合せ先

生産性企画部（吉牟田）

TEL 0952(25)4617